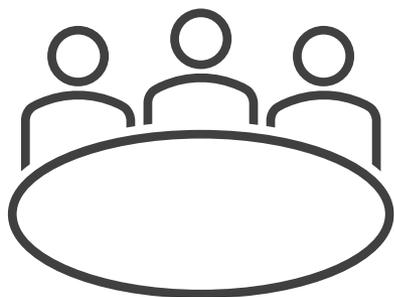




# 産業界の共助に向けた

## 第1回ワークショップ



2022年5月20日

中部防災推進ネットワーク





# 中部防災推進ネットワークの進捗

---

## ●中部防災推進ネットワークの目的

- ・災害時に政府・自治体・業界団体などが広域的に連携した活動を円滑に行うための、中部圏の業界団体間における顔の見える関係の構築（2020年7月～）
- ・災害時における事業継続のための相互支援、経済活動の復旧・復興に向けた相互協力などへの活動の展開に向けた、業界団体の役割の明確化と分担（2022年4月～）

## ●中部防災推進ネットワークで取り組んできたこと

- ・隔月の会合で、各メンバーから情報提供等の実施
- ・毎月のメールマガジンで、各メンバーから情報提供等の実施

⇒一方向の情報提供による勉強会に留まっている状況





# 産業界の共助の重要性

---

## ●社会から求められている地域での産業界の共助（1）

- ・名古屋商工会議所・中部経済連合会「東京一極集中の是正に向けた地域の機能強化と魅力向上に関する提言」（2021）では、**東京一極集中への危険性**に触れて政府に提言するとともに、中部圏と名古屋での必要施策を整理されている。また、自治体・大学・経済界の連携のもと取り組むべき事項の一つとして、「防災力の強化」を掲げている。
- ・日本商工会議所の地域BCM研究会（2022）「商工会議所を核とした地域の防災・減災対策の推進に関する中間報告書」では、頻発化・激甚化・広域化の傾向の進行を踏まえ、**自助力（自身の強靱化）のみならず、共助力（連携による強靱化）の強化**が必要であることを指摘している。ただし、日頃から中小企業を支援している商工会議所であっても、同所と各主体との間における災害時の連携状況は、途上の状況に置かれている（商工会議所が「連携していない」と回答した割合は、対行政は54.9%、対商工会議所（同士）は77.8%、対商工会等は87.0%、対会員企業は94.6%）。





# 産業界の共助の重要性

---

## ●社会から求められている地域での産業界の共助（2）

- ・ 関西同友会「民間の活力で、関西における災害へのレジリエンス・トランスフォーメーション（RX）を実行せよ」では、企業にも持続可能な社会への貢献が求められる中、**地域社会の防災活動、津波避難や帰宅困難者対策への協力の他、新しい防災技術の開発、普及等、企業の「新しい共助」活動**への期待が提言されている。

## ●南海トラフ地震による被害

- ・ レジリエンス確保に関する技術検討委員会（2018）では、南海トラフ地震における被害推計は1,541兆円（内訳：経済被害（20年間のGDPの毀損）1,240兆円・資産被害170兆円・財政的被害131兆円）と発表した。
- ・ NHK（2021）では、東日本大震災の発生からの10年間に投入された国の復興予算はおよそ32兆円であり、その4割は増税で賄っていると報道した。



# ワークショップ実施の趣旨

---

## ●中部防災推進ネットワークの位置づけ

- ・現状、「産業界の共助」について、地域単位で業界団体同士が議論する場は本ネットワークが先行事例（何をすればよいかという答えがない）
- ・中部防災推進ネットワークのビジョンとしては、広域災害時に備えた地域主導とした企業・行政間の共助を推進し、ひいては行政・大学・NPO・マスコミ等との共助の枠へ拡大し、最終的には、組織の壁を超えた有機体になること（他地域に先立つモデルになること）が考えられる。

## ●「産業界の共助」とは？

- ・「産業界の共助」とは、現時点で明確な定義はないが、南海トラフ地震等の大災害が発生することを踏まえて、被害縮減のために、ヒト・モノ・カネ・情報等の連携も含めて、協働することが考えられる。
- ・具体的に、何ができるのかということ、議論していく必要もある。

# ワークショップ実施の趣旨

---

## ●中部防災推進ネットワークのロードマップ

- ・2021年度には、中部防災推進ネットワークのロードマップについて、別紙のとおり承認を得ており、今年度は共同宣言を目標と置いています。  
(共同宣言の目的は、皆さんと一丸で目指すべき共通認識を持つためです。)
- ・ただし、各組織に事情がありますので、ロードマップについて、ワークショップ等を通じた双方向のコミュニケーションの中で、実現可能性がある形に期限や内容等のストレッチを行いながら実施できればと思います。

## ●本日のワークショップの目的

- ・本日のワークショップでは、**お互い本音で話しやすい風潮を醸成するとともに、自団体の課題等を共有することで、「産業界の共助」の重要性や必要性について、体感いただくこと**にあります。
- ・決して、答えを導く場ではなく、肩の力を抜きながらご参加ください！



# ワークショップ実施の進め方

---

## ●本日のワークショップの進め方

- ・このあと、各メンバー等をランダムに5グループに分けたブレイクアウトルームで、議論を実施します！
- ・各グループにはファシリテーターがいます。初めてのワークショップであり、ファシリテーターに慣れていない方もいますが、そこは「共助」の精神で盛り上げていただくようお願いします！
- ・今後も引き続き、ワークショップを実施していければと考えていますので、本音で意見を交わしやすくなるよう、前向きな意見を重ねていくように、お願いいたします。



# ワークショップ実施の進め方

## ●本日のワークショップのテーマ

- ・ワークショップの時間は60分（16:00終了）です。終了後は各グループのどなたかから、2～3分程度発表いただきます（各グループで発表者を1人決めます）。
- ・ワークショップのテーマは、
  - ①産業界・行政等の共助に向けた課題  
⇒「そもそもBCPの策定が進まない」、「人員不足で防災ができない」等の足元の課題でもOKです！
  - ②中部防災推進ネットワークへの望み  
⇒「どういう共助を求めるのか」「どういう取組みであれば産業界の共助ができるのか」等、実現に向けた前向きな意見をお願いします！
- ・自己紹介・発表者決めで5分使い、議論の時間で40分使い、発表内容を決めるのに15分を使ってください！

# ワークショップ実施の進め方

## ●本日のワークショップのタイムテーブル（～16:00）

時間割	実施すること
3分間	アイスブレイク （自己紹介等）
2分間	全体発表時の発表者決定
40分間	討議進行 テーマ①産業界・行政等の共助に向けた課題 テーマ②中部防災推進ネットワークへの望み
15分間	討議内容まとめ （1グループあたり2～3分程度の全体発表内容をまとめる）

# ワークショップ実施の進め方

## ●メンバー構成（グループA）

ファシリテーター：愛知県

		組織名（法人格除く50音順）	出席者	所属・役職
中部 防災 推進 ネット ワーク メンバー	業界 団体	愛知県医薬品卸協同組合	[Redacted]	[Redacted]
		助けあいジャパン		
	事務局	あいち・なごや強靱化共創センター（愛知県）		
		経済産業省 中部経済産業局		
	団協 体カ	国土交通省 中部地方整備局		
オブザー バー	中部電力			

# ワークショップ実施の進め方

## ●メンバー構成（グループB）

ファシリテーター：名古屋市

		組織名（法人格除く50音順）	出席者	所属・役職
中部 防災 推進 ネット ワーク メンバー	業界団体	愛知県トラック協会	[Redacted]	[Redacted]
		名古屋林業土木協会		
	事務局	あいち・なごや強靱化共創センター（名古屋市）		
		内閣府		
	協力団体	静岡県		
		オブザーバー		

# ワークショップ実施の進め方

## ●メンバー構成（グループC）

ファシリテーター：名古屋都市センター

		組織名（法人格除く50音順）	出席者	所属・役職
中部防災推進ネットワークメンバー	業界団体	愛知中小企業家同友会	[Redacted]	[Redacted]
		日本気象協会		
	事務局	名古屋まちづくり公社 名古屋都市センター		
	協力団体	中部経済連合会		
オブザーバー		トヨタ自動車		

# ワークショップ実施の進め方

## ●メンバー構成（グループD）

ファシリテーター：日本損害保険協会

		組織名（法人格除く50音順）	出席者	所属・役職
中部防災推進ネットワークメンバー	業界団体	事業継続推進機構	[Redacted]	[Redacted]
		日本ガス協会		
		日本赤十字社		
	事務局	日本損害保険協会		
		団協 体カ		
	オブザーバー	東海財務局		

# ワークショップ実施の進め方

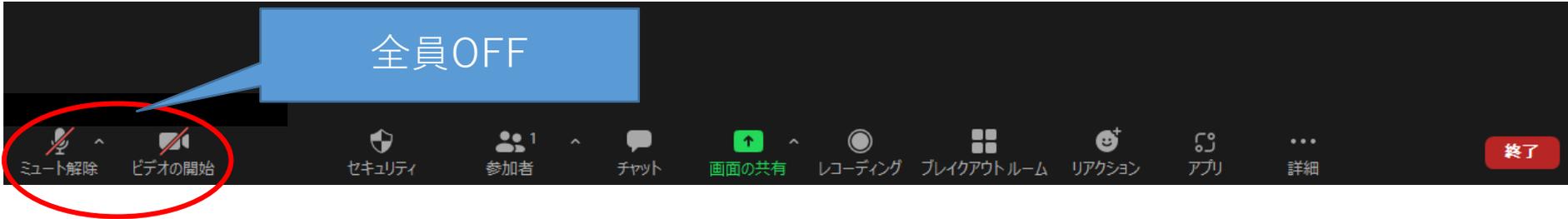
## ●メンバー構成（グループE）

ファシリテーター：日本損害保険協会

		組織名（法人格除く50音順）	出席者	所属・役職		
中部防災推進ネットワークメンバー	業界団体	生命保険協会	[Redacted]	[Redacted]		
		日本建設業連合会				
		日本ホテル協会				
		不動産協会				
	局事務	日本損害保険協会			[Redacted]	[Redacted]
	団体協力	岐阜県				

# マイクとカメラの設定について

①会議参加時～ワークショップ（ブレイクアウトルーム）前まで、④全体講評時



②ワークショップ（ブレイクアウトルーム）中

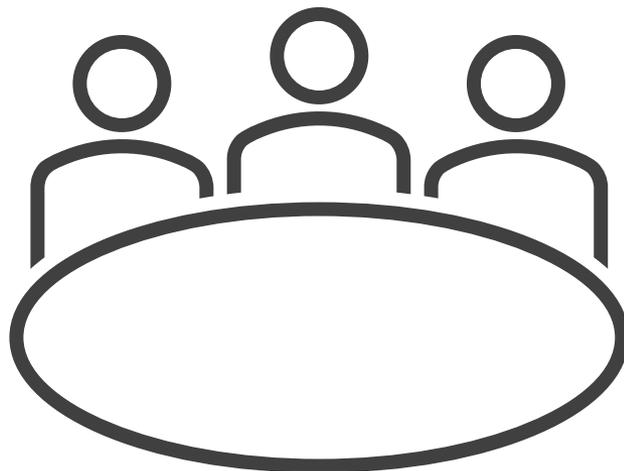


③全体発表中





それでは  
ワークショップ  
スタートです！



# Aグループ メモ（使用任意）

---

ここにメモを入れいてく





# Bグループ メモ（使用任意）

---

ここにメモを入れいてく



# Cグループ メモ（使用任意）

---

ここにメモを入れいてく





# Dグループ メモ（使用任意）

---

ここにメモを入れいてく



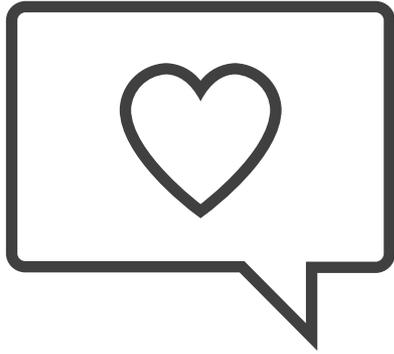


# Eグループ メモ（使用任意）

---

ここにメモを入れいてく





ワークショップ  
お疲れ様でした！



# ワークショップ終了後の共有

---

●各グループからの発表 + 質疑

●福和先生からの総括

## ●次回開催日

- ・ 7月15日（金）の14:30～です。

## ●次月以降のメルマガについて

- ・ 本日以降のワークショップの感想を踏まえて、各メンバーに感想等の執筆を依頼する予定です。